

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 2 月 5 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラから LPG ボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJ0078
排出削減事業者名	那須製紙株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	那須製紙株式会社 (栃木県那須塩原市一区町 200 番地)
事業の概要	A 重油焚き 4.8 トン炉筒煙管ボイラ 1 台を、高効率の小型貫流 1.2 トン LPG ボイラ 4 台へ更新することによって、CO2 排出量の削減を図るものである。 ボイラの高効率化による燃料使用量の削減及び低炭素燃料へのエネルギー転換によって、CO2 排出量が削減できる。
排出削減量の計画	292 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,192 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2009 年 3 月 3 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラの更新

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 3 月 3 日～2009 年 12 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画の「モニタリング対象指標のQA/QC」に基づき算定されており、適正であることを確認した。

排出削減量	254t-CO2
-------	----------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業計画通り、事業が開始されていることを確認した（2009年3月3日）。2) 対象期間中の設備稼働確認 LPG ボイラは実績確認期間中、継続的に稼働していることを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従って、LPGボイラが導入されていること、及び本実績期間において導入設備が稼働していることを、モニタリング対象指標の実績により確認した。具体的には、LPGの使用量については、LPG供給会社から毎月送付される「LPG使用量請求書」を担当者が記録・保管し、スプレッドシートへの転記後、そのデータを元に正確に集計されていることを、証拠との突合、検算などにより確認した。2) 活動量の正確性 本事業においては該当しない。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論（排出削減方法論について：別表）及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認した。4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量は、方法論及び承

	認排出削減事業計画に従って適切に計算され、算定結果は正確であることを確認した。
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	算定期間は2009 年12月31 日までであり、2013 年3 月31 日を超えていない。

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算26klであることを確認した。

以上